

# 家事使用人に係る実態調査について

## 家事使用人の実態把握のためのアンケート調査（速報）

調査目的	家事使用人として個人家庭と契約して働く方の労働実態を把握すること
対象者	全国の家政婦（夫）紹介所に登録され、個人家庭と契約して働いたことのある家事使用人
調査期間	令和5年1月31日から令和5年3月15日まで
実施主体	独立行政法人 労働政策研究・研修機構（JILPT）
調査手法	全国の家政婦（夫）紹介所にアンケート票を郵送で送付し、家政婦（夫）紹介所から、来所された家事使用人に対して調査票を配付。調査票に記載した本人から直接返送。
調査部数	有効回収数 1,997部（有効回答率 21.7%） （※）総数 9,220部（年間の紹介件数により比例した部数を全国の541紹介所に配布）
主な調査項目	基本属性、希望の働き方、業務の内容、契約の内容、勤務時間、報酬、けが等の状況、 労災保険・民間保険の加入状況、トラブルや困っていること、働き方の満足度 等

（※）本資料は、労働政策研究・研修機構「家事使用人の実態把握のためのアンケート調査」の速報値を基に厚生労働省労働基準局で作成。

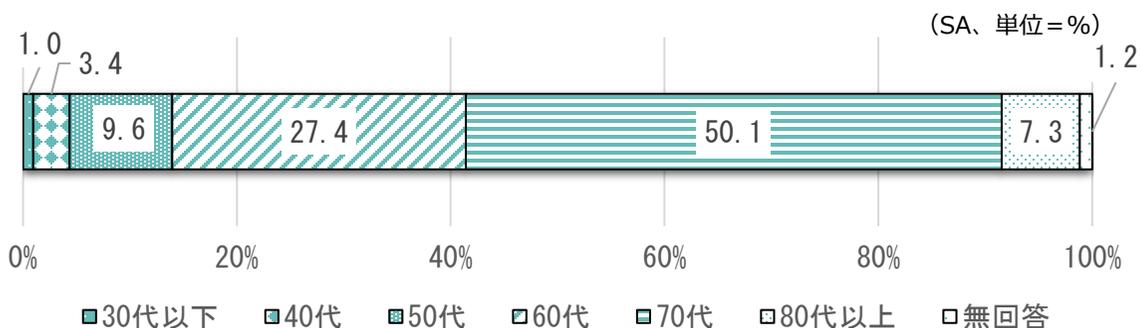
（※）家事代行サービス業者等と契約して働いている家政婦（夫）は、調査の対象者に含まれていない。

（※）調査の検討に当たっては、業界団体、家政婦（夫）紹介所、家事使用人本人、労働法学者にヒアリングを行った。

## 基本属性

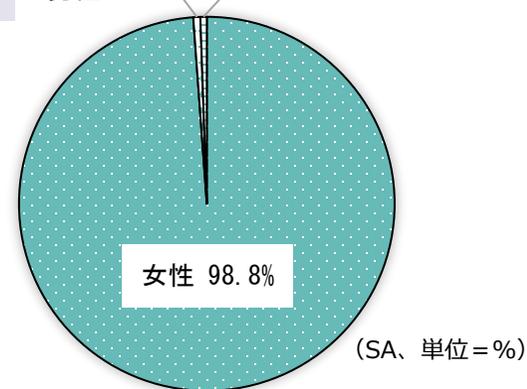
- 年齢は、「70代」が50.1%、「60代」が27.4%で、これらの年代が全体の77.5%を占める。
  - 性別は、「女性」が全体の98.8%。
  - 通勤・泊込の別は、主に「通勤」が83.8%、主に「泊まり込み」が8.9%、「両方（通勤・泊まり込みが同程度の頻度）」が6.0%。
  - 登録している職業紹介所数は、「1か所」が87.6%。
  - 現在、家政婦（夫）として働いている先の数は、「1件」が47.5%、「2件」が26.7%、「3件以上」が22.0%。
- (※) 「2件」「3件以上」と回答した者のうち、1日の中で複数就労が「ある」が39.2%、「ない」が58.8%。

### 年齢

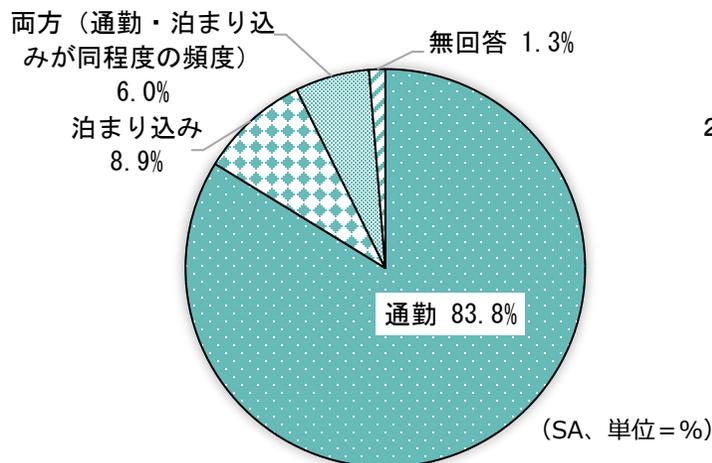


### 性別

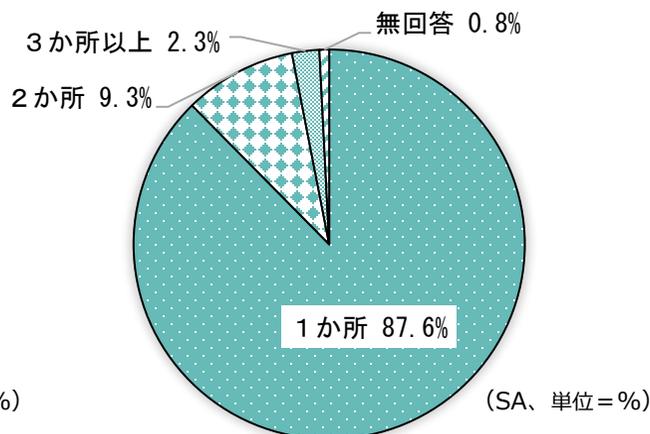
男性 0.6% 無回答 0.6%



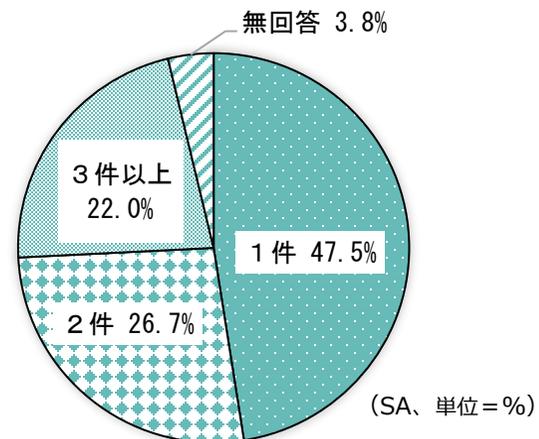
### 通勤・泊込の別



### 登録している職業紹介所数



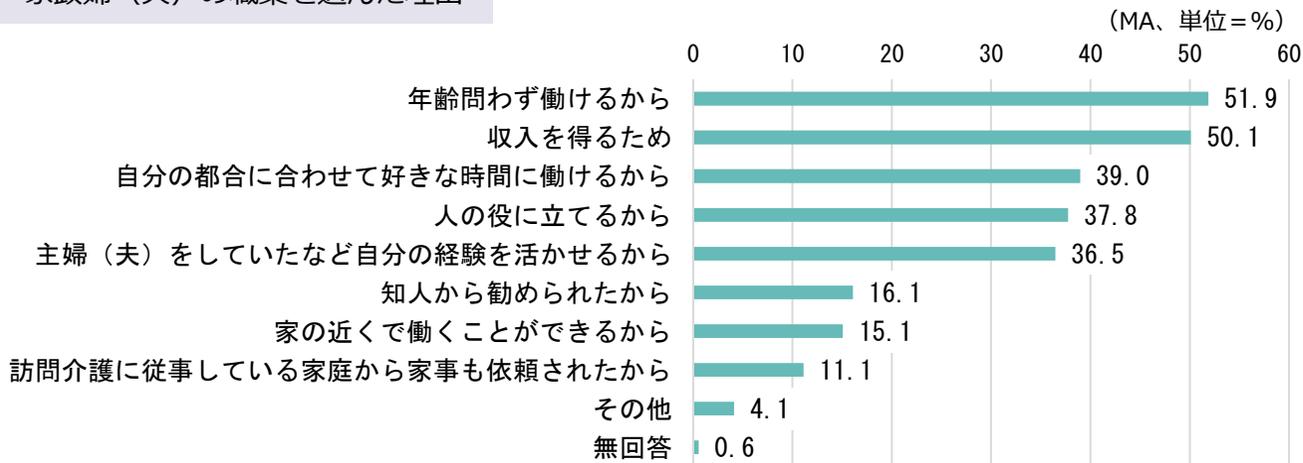
### 現在、家政婦（夫）として働いている先の数



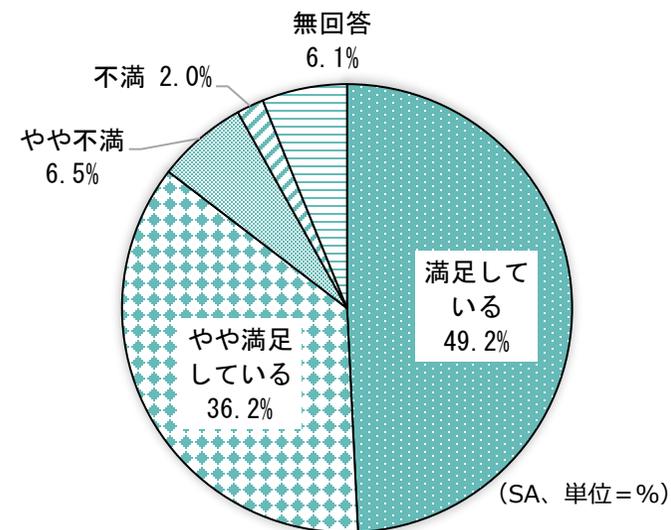
## 家政婦（夫）として働いている理由等

- 家政婦（夫）の職業を選んだ理由は、「年齢問わず働けるから」が51.9%、「収入を得るため」が50.1%、「自分の都合に合わせて好きな時間に働けるから」が39.0%。
- 事業者等ではなく個人家庭と契約して働く理由は、「勤務時間の長さなどの制限がないから」が33.6%、「知人から紹介されたから」が22.2%、「賃金が高いから」が20.2%。
- 家事使用人という働き方への満足度は、「満足している」と「やや満足している」の合計が85.4%、「やや不満」と「不満」の合計が8.5%。

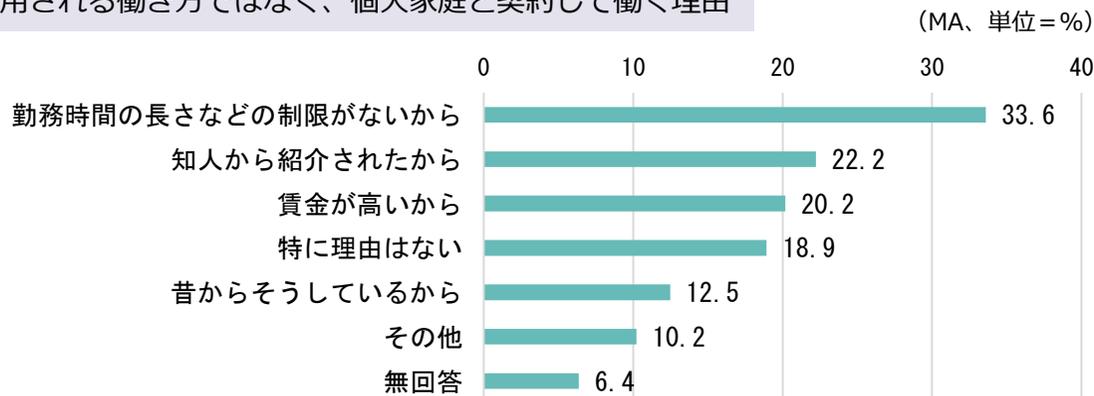
### 家政婦（夫）の職業を選んだ理由



### 家事使用人という働き方への満足度



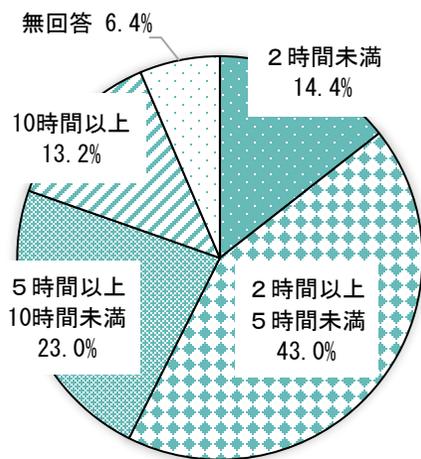
### 事業者等に雇用される働き方ではなく、個人家庭と契約して働く理由



## 1日当たりの平均勤務時間等

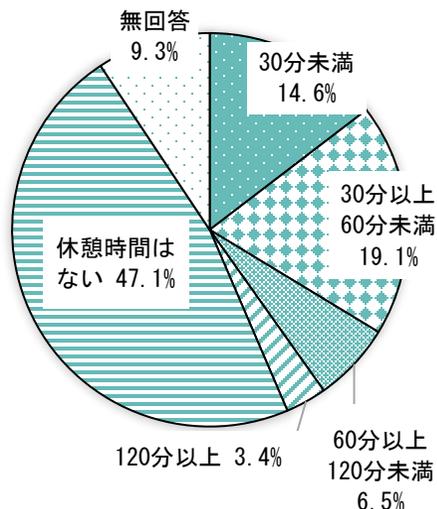
- 1日当たりの平均勤務時間（休憩時間を除く）は、「2時間未満」が14.4%、「2時間以上5時間未満」が43.0%、「5時間以上10時間未満」が23.0%、「10時間以上」の合計が13.2%。
- 求人者の家庭に決められた休憩時間（睡眠時間を除く）は、「休憩時間はない」が47.1%。1日当たりの平均勤務時間別に見ると、平均勤務時間が「5時間未満」の60.8%、「5時間以上10時間未満」の27.2%、「10時間以上」の33.0%が、求人家庭に決められた休憩時間について、「休憩時間はない」と回答。
- あらかじめ決められた休憩時間と勤務時間の違いが明確かは、「いいえ」が63.3%。

1日当たり平均勤務時間  
（休憩時間を除く）



(SA、単位=%)

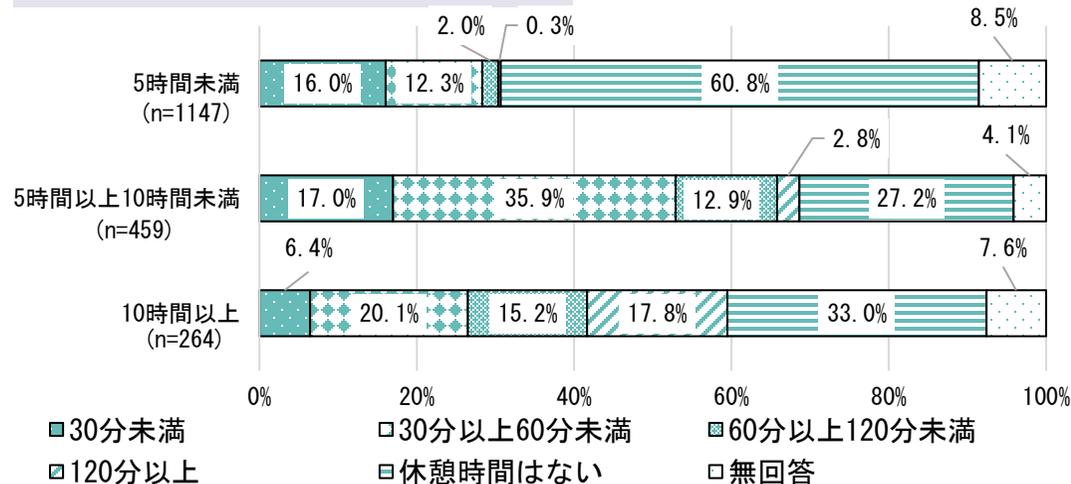
求人者の家庭に決められた休憩時間  
（睡眠時間を除く）



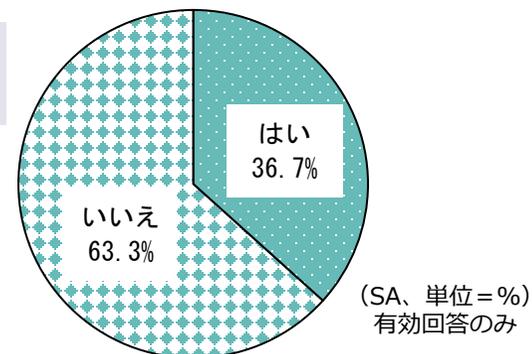
(SA、単位=%)

1日当たりの平均勤務時間別  
求人家庭に決められた休憩時間の長さ

(SA、単位=%) 有効回答のみ



あらかじめ決められた休憩時間  
と勤務時間の違いが明確か

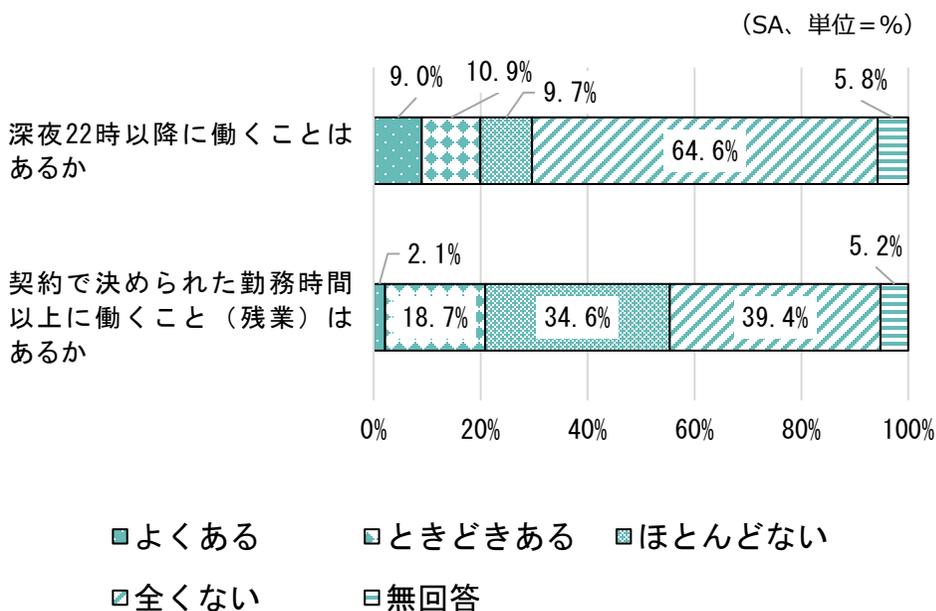


(SA、単位=%)  
有効回答のみ

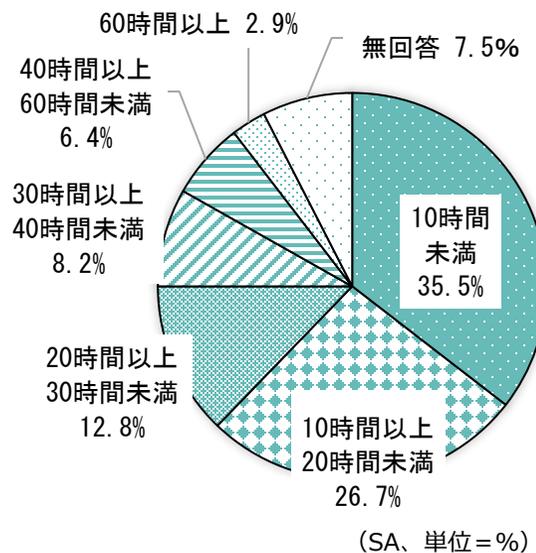
## 深夜22時以降の労働等

- 深夜22時以降の労働は、「よくある」と「ときどきある」の合計が19.9%、「ほとんどない」と「全くない」の合計が74.3%。契約で決められた勤務時間以上に働くこと（残業）は、「よくある」と「ときどきある」の合計が20.8%、「ほとんどない」と「全くない」の合計が74.0%。
- 1週間の平均勤務時間（休憩時間を除く）は、「10時間未満」が35.5%、「10時間以上20時間未満」が26.7%、「週60時間以上」は2.9%。
- 1か月の平均就労日数は、「5日未満」「5日以上10日未満」「10日以上15日未満」の合計が68.7%。

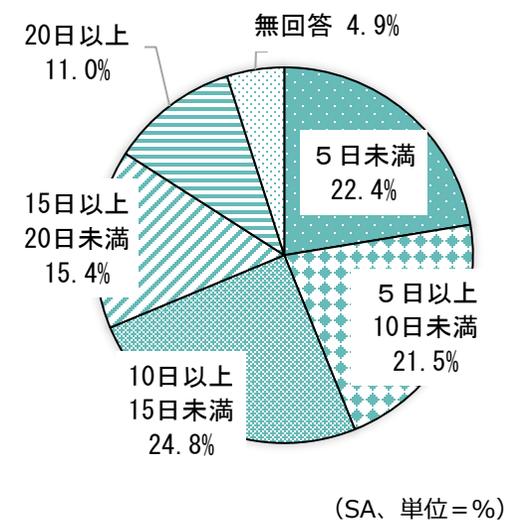
### 深夜22時以降の労働、残業の状況



### 1週間の平均勤務時間 (休憩時間を除く)



### 1か月の平均就労日数



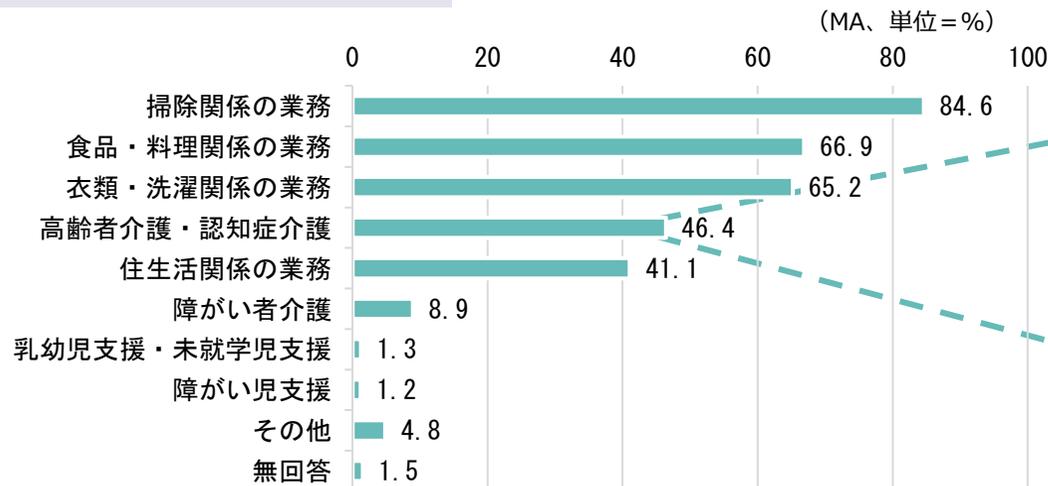
## 業務内容、業務の指示

- 普段行っている業務内容は、「掃除関係の業務」が84.6%、「食品・料理関係の業務」が66.9%、「衣類・洗濯関係の業務」が65.2%、「高齢者介護・認知症介護」が46.4%、「住生活関係の業務」が41.1%。

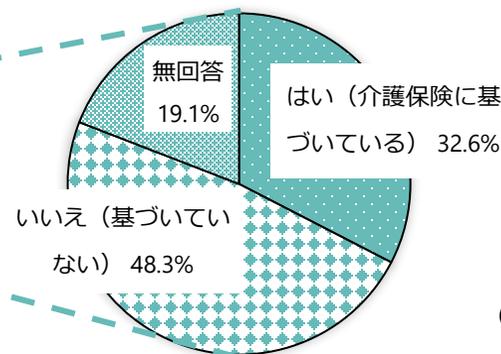
(※)「高齢者介護・認知症介護」を選択した者に対して、「これらの業務は介護保険に基づいて行っているか」については、「はい（介護保険に基づいている）」が32.6%、「いいえ（基づいていない）」が48.3%となっている。なお、介護保険による業務については、居宅サービス計画（ケアプラン）等に基づき、指定訪問介護事業所等の指揮命令下において提供されるものであり、個人家庭と直接契約して行う家政婦（夫）としての業務とは異なるものと考えられる。

- 通常、家政婦（夫）業務に関する具体的な指示を行う者は、「実際に家政婦（夫）として働く家庭の雇い主本人、又は家族」が80.2%、「家庭外の会社（訪問介護サービス事業者や家事代行サービス業者等）」が19.6%、「職業紹介所」が19.3%。

### 普段行っている業務内容



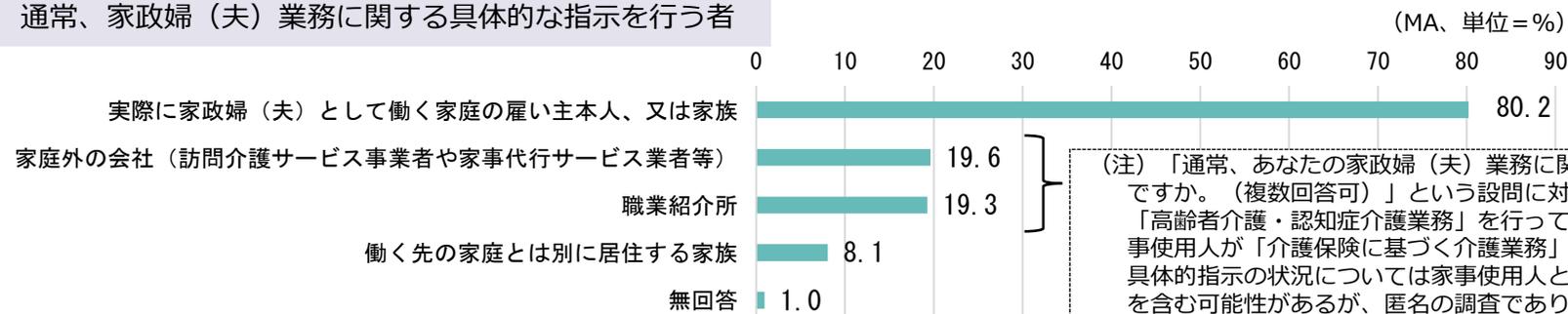
### 「高齢者介護・認知症介護業務」は介護保険に基づいて行っているか



(※) 普段行っている業務で「高齢者介護・認知症介護」としている者を対象に集計

(SA、単位=%)

### 通常、家政婦（夫）業務に関する具体的な指示を行う者

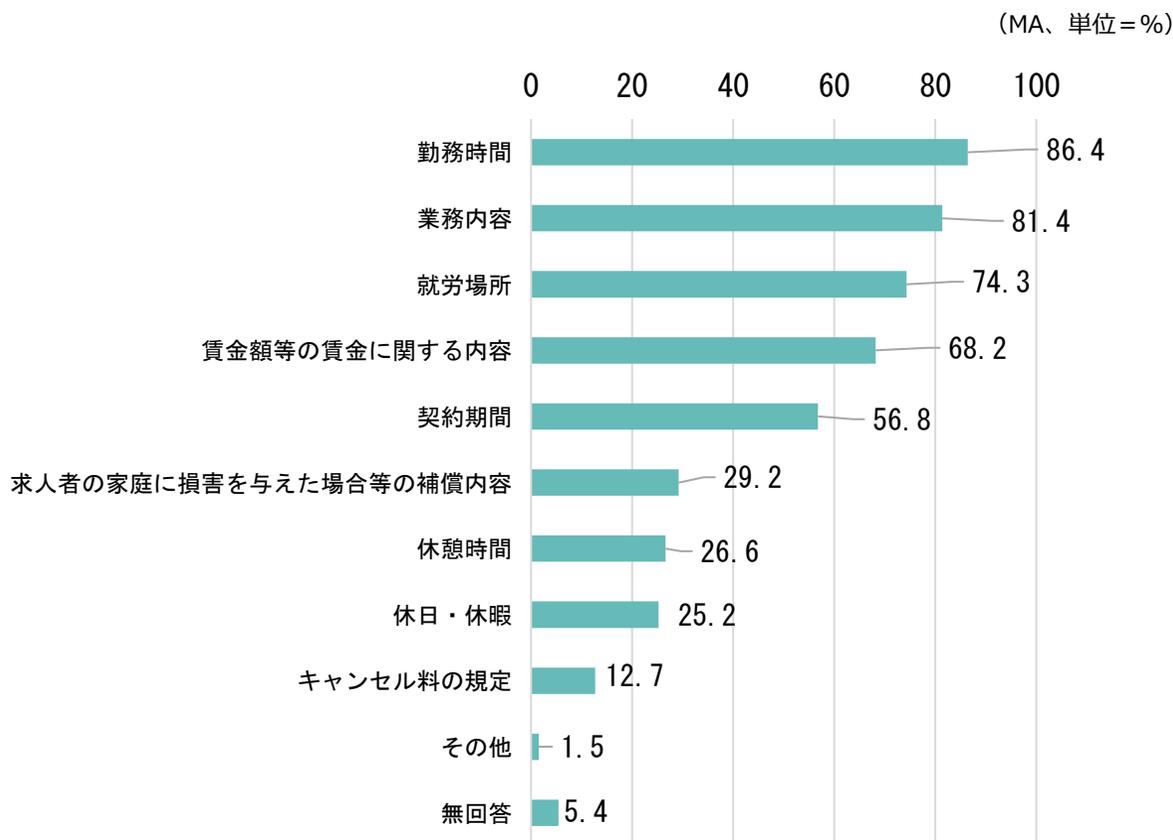


(注) 「通常、あなたの家政婦（夫）業務に関する具体的な指示を行うのは誰ですか。（複数回答可）」という設問に対する回答である。本調査は、「高齢者介護・認知症介護業務」を行っていると回答した者の32.6%の家事使用人が「介護保険に基づく介護業務」を行っていることも踏まえると、具体的な指示の状況については家事使用人としての業務以外についての回答を含む可能性があるが、匿名の調査であり、詳細は不明である。

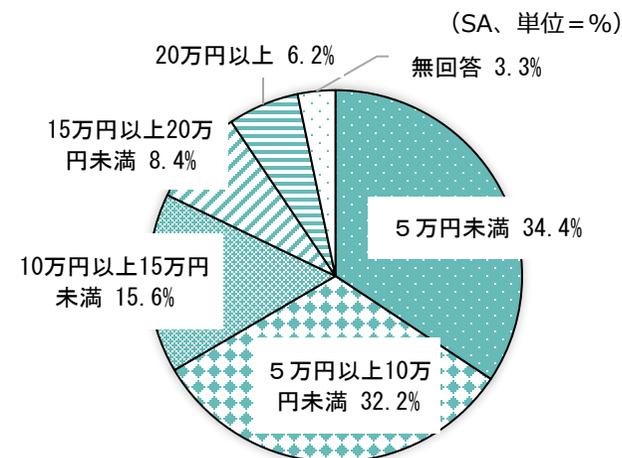
## 契約の内容、報酬

- 契約の内容は、多い順に、「勤務時間」(86.4%)、「業務内容」(81.4%)、「就労場所」(74.3%)、「賃金額等の賃金に関する内容」(68.2%)、「契約期間」(56.8%)となっている。
- 家政婦(夫)としての1か月当たりの報酬は、「5万円未満」が34.4%、「5万円以上10万円未満」が32.2%、「10万円以上15万円未満」が15.6%、「15万円以上20万円未満」が8.4%、「20万円以上」が6.2%となっている。また、報酬の支払い方法は「家庭から現金を手渡し又は口座振り込み」が63.0%、「職業紹介所経由での支払い」が31.2%となっている。

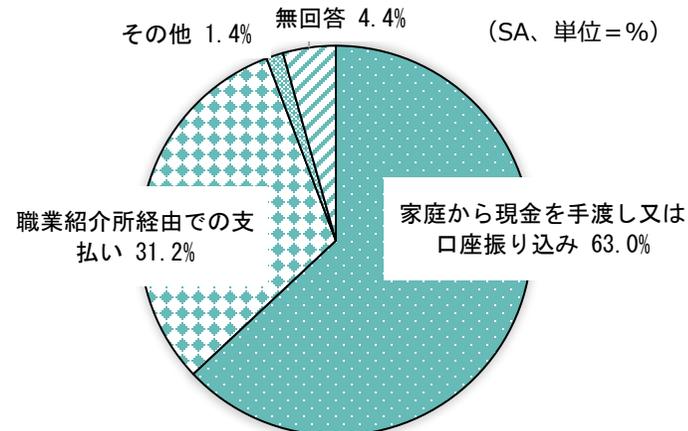
### 契約の内容



### 1か月当たりの報酬



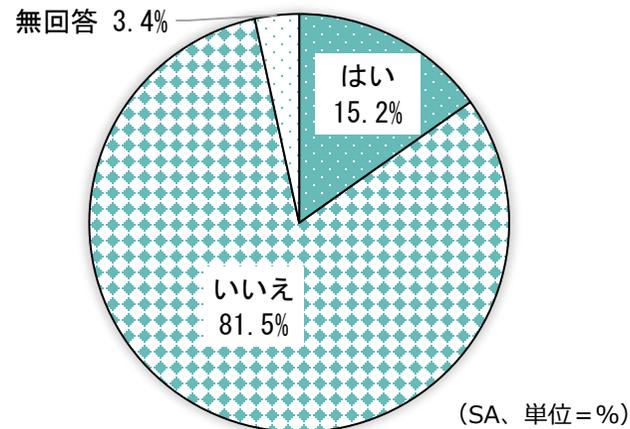
### 報酬の支払い方法



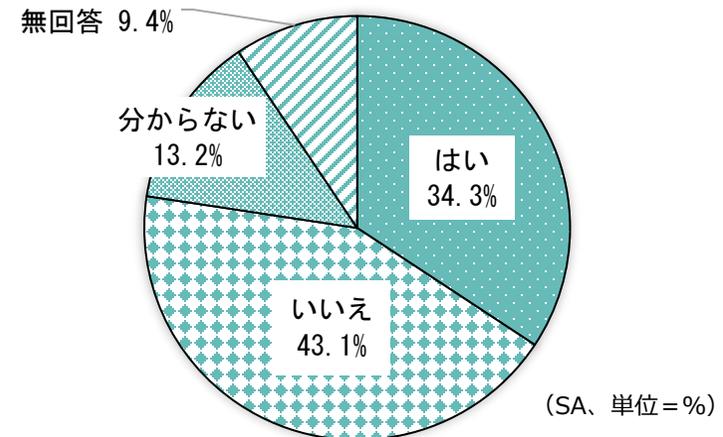
## 病気・けが、労災保険の特別加入の状況

- 業務中に病気やけがをした経験があるかについて、「はい」が15.2%、「いいえ」が81.5%。  
 (※) 病気やけがの内容は、「骨折・ヒビ」が27.1%、「切傷」「腰痛」がそれぞれ26.4%、「打撲」が24.4%。
- 労災保険に特別加入しているかについて、「特別加入している」が34.3%、「特別加入していない」が43.1%、「分からない」が13.2%。
- 特別加入していない理由は、「民間保険に入っているから」が57.0%、「制度を知らなかったから」が19.3%。

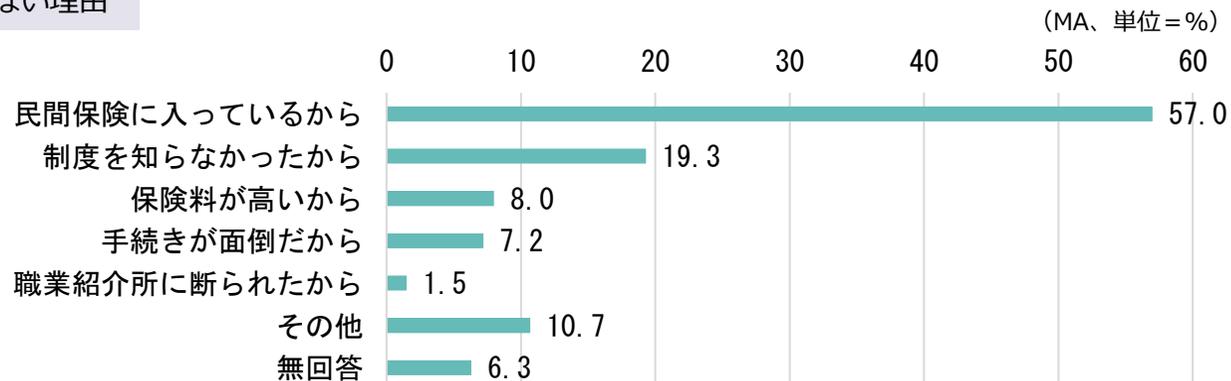
業務中の病気やけが



労災保険に特別加入しているか



労災保険に特別加入していない理由



## 働く中で生じたトラブルや困っていること

- トラブルや困ったことの内容は、「特にない」という回答が66.4%。次いで、多い順に「契約の範囲外の業務を命じられた」が5.8%、「パワハラを受けた」が5.5%、「業務で求められる水準が高すぎる」が4.9%、「家庭からいきなり契約を切られた」が4.5%、「セクハラを受けた」が3.0%となっている。

働く中で生じたトラブルや困ったことの内容

